

第1回

ドネーション パーティー

Donation Book

6月1日(日)

10:00~15:00

In 八幡浜市 新町ドーム

福祉のつどいと同時開催

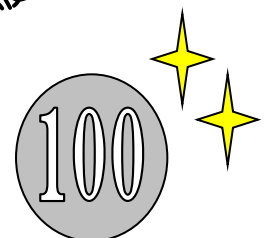


びーぶう

エントリー団体一覧

- ① 手話サークル あゆみの会
- ② 医療法人 地域活動支援センター くじら
- ③ 朗読ボランティア どんぐり
- ④ 点訳サークル 竹の子会
- ⑤ NPO法人 えひめ子どもチャレンジ支援機構 八幡浜支部
- ⑥ 神山おやし隊
- ⑦ YGP(八幡浜元気プロジェクト)

100円の新しい使い方提案します!!



100円の新しい使い方を提案します！！

ドネーションパーティとは？



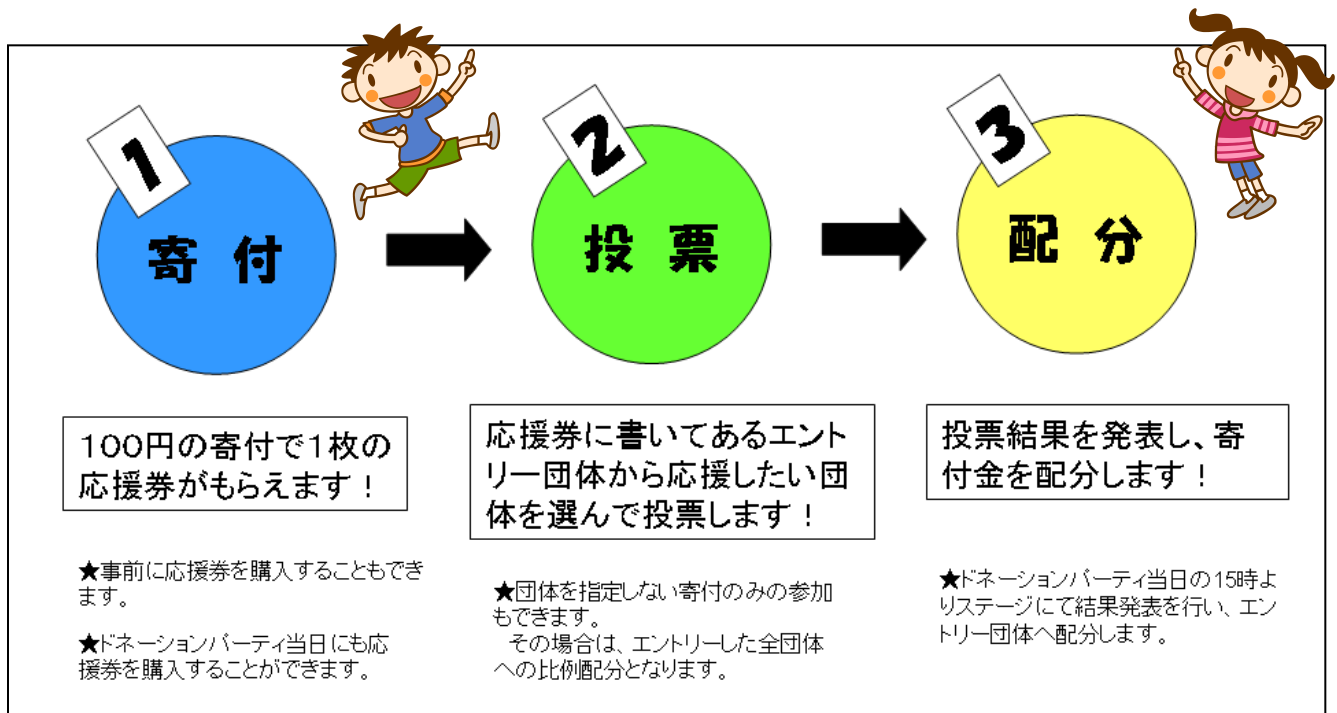
ドネーションパーティとは、地域活動団体（ボランティア団体）を民間の資金で支えるという、アメリカで始まった寄付システムの一つです。

公益的な各団体の活動は、市民生活の向上や地域の問題解決の一助になっているものの、資金不足や住民の協力のないといった課題も抱えています。このような背景から生まれた寄付システムは、団体の活動促進や責任を持って社会にサービス提供できる組織への育成につながり、寄付を行う側の住民や企業にとっては、地域貢献活動を支援する手軽で有効な手段となるなど、多くのメリットを生みます。

ドネーションパーティを通して「100円の新しい使い方」を提案していきたいとYGPは考えています。

ドネーションのしくみ

事前に応援券を購入し、寄付することもできます！



- ★ 八幡浜ドネーションプロジェクトの趣旨に賛同してくださる方であれば、企業・団体・個人を問わず寄付することができます。
- ★ 「応援券」は、何口でも購入することができます。
- ★ 企業・団体からの寄付は、原則エントリー団体全体に対する寄付とします。
- ★ 「応援券」は、5/18旬彩市YGPブース、ドネーションパーティ事務局にて事前に購入し、事前投票（寄付）することができます。
- ★ 企業・団体からの寄付は、YGPもしくはドネーションパーティ事務局で受け付けます。企業・団体からの寄付については、必要に応じて領収証を発行します。

ドネブックの使い方

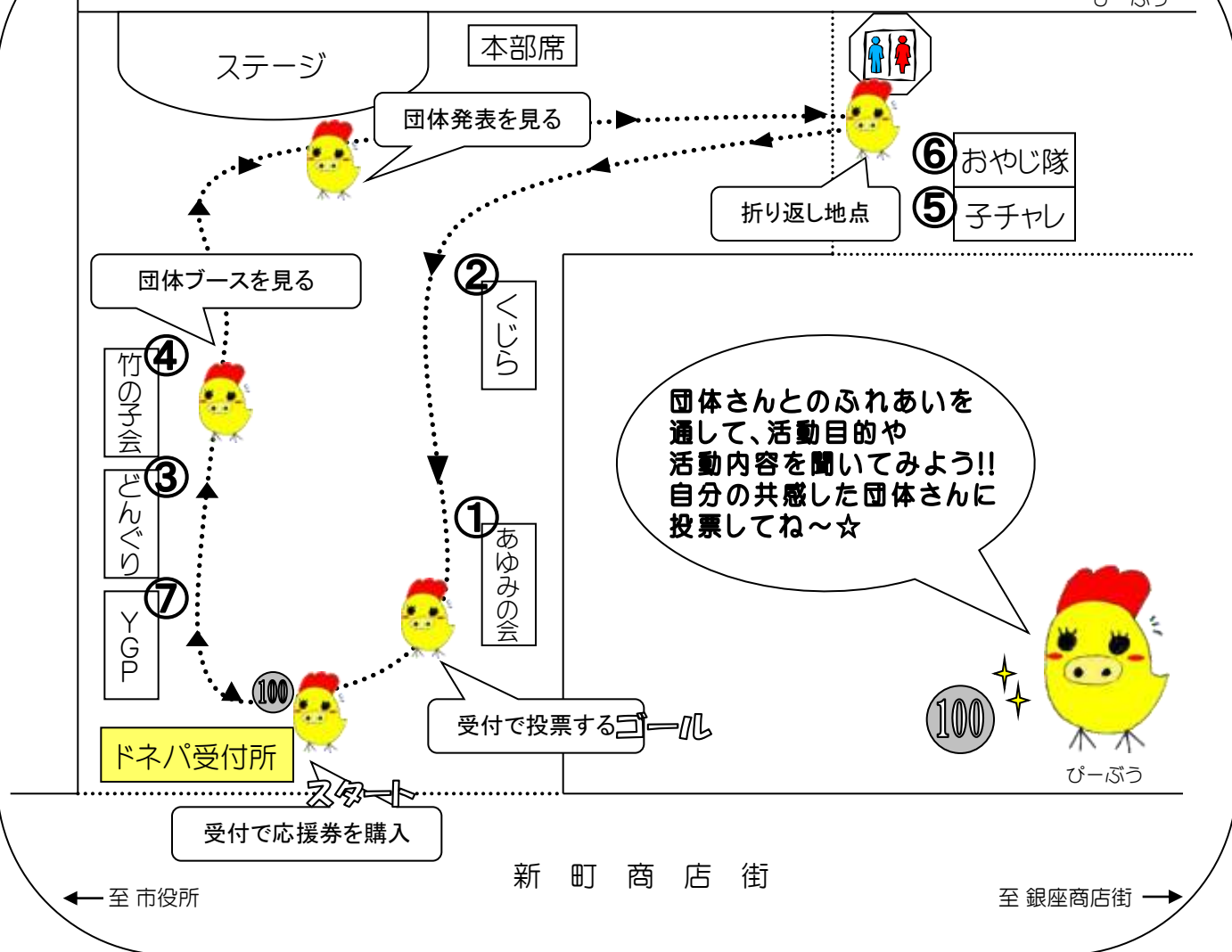


本ドネーションブック（ドネブック）には、エントリー団体さんの活動紹介が掲載されています。事前ドネーションもしくは当日にドネーションをする際、投票する先を決める参考にしてください。

ドネーションパーティ当日には、エントリー団体さんの工夫の凝らしたブース運営やステージ発表がございます。ご自身でエントリー団体さんとふれあって投票してくださいね。

ドネーションパーティ会場図

12:05~12:40の間にステージにて、エントリー団体紹介があるよ!



※ 会場図は、イメージ図で、エントリー団体のみを掲載しています。
 ※ 会場図は、当日変更になることがございますので、ご了承下さい。

お問い合わせ

【ドネーションパーティ事務局】
 市ボランティア協議会内 河野
 八幡浜市松柏乙1101番地 市保健福祉総合センター2階
 電話 0894-23-2940 FAX 0894-23-0506

【主催・運営】

**Yawatahama
 Genki Project**

YGP(八幡浜元気プロジェクト)
 ブログ http://blog.livedoor.jp/love_yawatahama/
 メール love_yawatahama@livedoor.com





手話サークル あゆみの会



その「手」で「話」してみませんか？

手話講習会がきっかけで設立された「あゆみの会」は、今年で30周年をむかえます。手話は見る言葉です。一つ一つの表現や動作にも、それを作り育ててきた聴覚障害者の生活と知恵が込められています。「あゆみの会」は手話を学ぶだけでなく、聴覚障害者とのふれあいを大切に、より多くの方々に手話にふれてほしいと思っています。興味を持たれた方、まずは見学を！サークル一同お待ちしております！！

活動目的

聞こえない人達が表情豊かに話す「手話」は魅力的です。
多くの方が手話を知り、自由に話ができることを望み、また、手話の学習等を通して聴覚障害者への情報提供や社会参加促進を実現するための活動を行っています。

活動内容

毎週金曜日19:30～21:00 八幡浜市保健福祉総合センターにて定例学習会
火曜日(月3回)9:30～11:00 神宮通り福祉会館にて学習会
ビアガーデン・クリスマス会などの交流会や聴覚障害者協会との親睦旅行
市内の小中学校への手話指導などの他、県内外への研修会への参加
行事協力など、幅広い活動を行っています。

目指すま

聞こえる人も聞こえない人も皆が安心してくらするまちづくりを目指します。

活動のススメ

手話言語を覚えるだけでなく、表情豊かな表現力が身に付きます。人と人とのコミュニケーション力をつける為にも、とてもお役に立てるはず!!
幅広い年齢層の集まる学習会では、新しい発見!!をすることもしばしばです。

寄付金の使い方

サークルでの研修、学習活動に使わせていただきます。

まずは、毎週金曜日の学習会を見学してみてください。(in保健福祉総合センター19時30分～21時)午前中の方が都合の良い人は、学習会開催日のお問い合わせを！

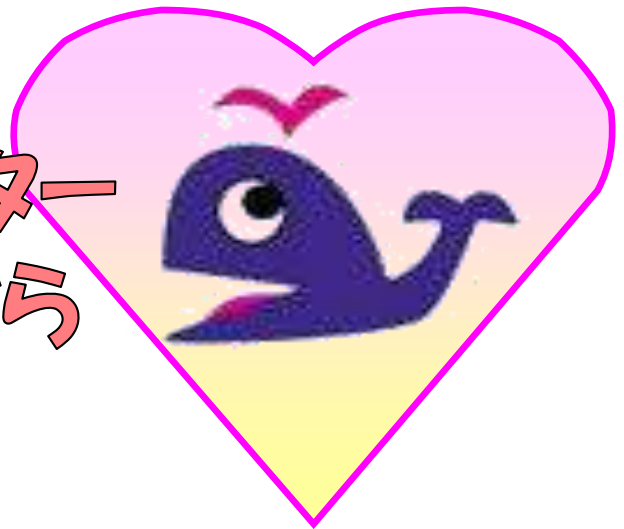
興味のある方は

- 代表者 岡野由季枝 ●設立年月 昭和53年1月 ●会員数 35人
- 連絡先 八幡浜市役所 福祉事務所 0894-22-3111 内線174(藤高)



青峰会

地域活動支援センター くじら



日常生活の様々な悩み事 お気軽にご相談下さい

『地域で生活する』…当たり前の事ですが、これが障害者にとっては簡単にはいかない大きな問題を含んでいます。そんな問題を少しでも解消していければと考えています。

地域活動支援センターくじらは、障害者の方を中心に、ご家族や地域の方々と様々な問題について一緒に考える場として、市の委託を受けて運営をしています。障害を持った方も、障害を持たない方も、偏見や思い込みを拭き取って、優しく住みやすい地域になる為に色々な活動をしています。

お互いに支えあう事を前提に、誰もががあるがままを受け入れられ、いきいきと生活できる地域を目指して活動しています。また、関係機関との連携を強め、誰もが安心して暮らせる為の地域ネットワークの構築も進めていきます。

活動目的

家庭や学校・職場、家族や友人など日常生活において、思い悩んで独りで抱えるのではなく、『気軽に相談できる場所』として、また障害者の方が地域生活を送る上で、少しでも『楽しみ』や『生きがい』が持てるように、本人の意思を尊重しつつ、必要な支援や援助を提供することを目的としています。

活動内容

- ① 生活する上での不安や悩みを一緒に考え相談に応じます。
- ② ノンビリくつろいだり、みんなで楽しく過ごす『場の提供』をします。
- ③ 関係機関との連絡調整や各種の情報提供をします。
- ④ レクリエーション活動、料理教室、パソコン教室、スポーツを行います。
- ⑤ ピアカウンセリングを継続して実施しています。

目指すまち

障害者をはじめ、子供や老人と言われる弱者に対して理解があり優しく、誰もが安心して暮らせる『チャンポンのように"個性豊かなあったか〜い"』人情味のあるまち

活動のススメ

同じ様な経験や体験を共有し分かち合う仲間が、日常の悩みや相談事を気軽に話し合い、お互いがカウンセラーとなって考えを打ち明ける『ピアカウンセリング』と言う活動があります。人前で話をする事が大変苦手だった人がこの活動を通して自分の意見や考えを言葉にする事が出来るようになりました。

寄付金の使い方

地域活動支援センターの活動に賛同して頂いた寄付金は、今後の八幡浜市における福祉活動や地域活動に活用し、地域ネットワークの構築を図る為に使わせていただきます。

障害を持たれている方、またご家族や地域の方も含め、どなたでも気軽に利用になれます。『いつ来て、いつ帰ってもOK!』と言う地域活動支援センターくじらには是非一度足を運んでみて下さい。

興味のある方は



朗読ボランティア どんぐり



あなたの「声」・私の「声」でボランティアを楽しもう！

私たちは見えない方や見えにくい方々のために「声」でボランティアをしているサークルです。
今の情報にあふれたこの世の中で、もし、目が見えなくなったら...想像するだけで途方にくれてしまいます。そんな状況にある方々に少しでも何か手伝うことができたなら...、何か私達でもできるはず... 私達のもっている「声」と「時間」と「心」を使ってできるボランティアです。「見えない」、「見えにくい」方々の「目のかわり」を、ちょっと、してみませんか！！

活動目的

視覚に障害のある方々のために、文字で提供されている様々な情報を「音声」で伝えることで「情報のバリアフリー化」をめざしています。

また、一緒に活動する機会をもつことで、見えないことへの理解を深め、すべての人の社会生活のバリアフリーをめざしています。

さらに、つちかった表現力を「読み聞かせ活動」に生かし、小学校や福祉施設を訪問し、読書の意欲を高めたり、情緒活動を豊かにするお手伝いをしています。

活動内容

- ① 毎月、声の広報(市の広報や議会だよりなどを録音したテープやCD)を作成
- ② テープ・CD利用者(視覚障害者)からの依頼によるプライベートサービス
- ③ 利用者(視覚障害者)への市内情報のメール配信
- ④ 利用者(視覚障害者)との交流活動
- ⑤ 小学校や福祉施設での読み聞かせ活動
- ☆ その他、研修会への参加や他サークルの活動への参加など、様々な活動をしています。

目指すま

見えても、見えなくても、見えにくくても、みんな元気に楽しくらせるまち！

活動のス

おなかから声をだすだけで、元気になります。ストレスも発散！若返ります！サークル内の研修でパソコンを使えるようになった人もいます。いろいろな出会いや体験であなたの世界がひろがります☆思ってもみなかった〇〇があるかも☆

寄付金の使い

録音機器を整備したり、奉仕活動に使わせていただきます。

6月からの朗読(音声訳)ボランティア養成講座にご参加ください。
まずは、社協(23-2940)またはどんぐりメールアドレスまでご連絡を！

興味のある方

は



点訳サークル 竹の子会



視覚障害者の方にも楽しんでもらえるよう点字にしてみませんか？

原文に忠実に適切に、視覚障害者の文字である点字に訳すため、点訳奉仕者・校正者としての資質・知識の向上を目指しています。

今はパソコンで点訳ができますので、以前より修正も簡単になりましたが、その分正確さが要求され、皆で話し合って仕上げたときの充実感は格別です。

活動目的

視覚障害者の社会参加、文化・福祉の増進を図るため。

活動内容

- 図書の点訳
- 視覚障害者関係文書の点訳
- 視覚障害者との交流
- 点訳奉仕員養成講習協力
- 小学校等の点字指導
- 点訳学習

目指すま

誰もが生活しやすい、動きやすいまちづくり

活動のススメ

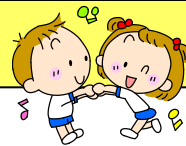
空き時間を有効に活用でき、しかも漢字や固有名詞の読み方を調べるため、日本語を再認識できます。

寄付金の使い方

点訳資料の購入など、点訳・校正のための必要経費

興味のある方は

点訳奉仕員養成講習（初級・社協主催）を受けていただくか、同レベルの個人指導を受けてください。



えひめ子ども チャレンジ支援機構 八幡浜支部



明日へはばたく子どもたちのチャレンジを応援する！

私たちの希望は、子どもが自分で進む道を見つけ出すこと！今までは大人がいろいろな場面を設置・企画して子どもたちにサービスしながら様々な体験の場を提供してきたけれども、それと共に子どもたち自身が自分たちで創造し、発見し、企画し、汗をかいて成し遂げる、そんな場も必要なんじゃないかな？子どもたちは行動力もあるし、強制力もあるし、協働力も十分にある。そんな子どもたちのチャレンジ精神を裏方や資金面でバックアップして達成感を味あわせてあげたい。子どもの幸せを願うことが、子どもの前を一生懸命走ることではない。子どもの後ろから追っかけるような大人もまた素敵だと思いませんか？

活動目的

- 3つの「シヨク」の推進を図ること。
- ① 職業観や勤労観の育成の「職」(仕事にチャレンジ、未来を考える等)
- ② 健全な食生活への意識・態度形成の「食」(食材を探す、作る等)
- ③ 対人関係能力の向上やボランティア活動の「触」(人と触れ合う、話す、ボランティアを試してみる等)

活動内容

- 「みんなでチャレンジ みんなのチャレンジ」活動の支援
- ① チャレンジ実施計画(自分たちで何にチャレンジするか決定する)
 - ② チャレンジ活動実施(いくつかは班分けしてチャレンジ活動を実践する)
 - ③ チャレンジ活動報告(活動を振り返り、成果を発表する)

目指すま ち

人と人とのネットワークが生み出すパワーで八幡浜が元気になるといいな！

活動のス メ

小学生(5・6年生)、中学生、高校生の異年齢の子どもたちでグループをつくることでお互いが成長していけること。また自分たちのチャレンジしたいことを大人の力を借りて実践できること。

寄付金の使い 方

子どもたちがチャレンジするための活動資金

興味のある方 は

下記連絡先にご一報ください。
詳細はHPをご覧くださいね。



神山おやじ隊



地域の子どもは地域の手で育てよう！

いいことしたらほめてあげよう！悪いことしたら怒ろうよ！子育てを母親まかせにするな！立ち上がれおやじ隊！地域の子どもは地域で育もう！
子どもたちと共に歩き、共に探し、共に笑い、共に感じ、共に泣き、共に抱き、共に築き、共に願おう！
そして、子どもたちから元気をもらい、おやじ達の残り少ない？未来のために、地域の未来のために、おやじパワー全開ダー！！今、神山おやじ隊が熱い☆

活動目的

子どもたちの笑顔、父兄の笑顔、地域の皆さんの笑顔、そしておやじ達の笑顔がここにある。
何よりも、みんなの笑顔が引き出せる。そんなイベントを計画して行きたい。
今年もおやじ達は楽しむぞ～！！

活動内容

- ① 夏休み中のデーキャンプや小学校バザーへの協力、地区福祉の集いでのもちつき、その他子どもたちとのふれあい交流会等の実施
- ② 各種ボート大会や綱引大会等へ参加しての隊のPRの実施
- ③ 隊員の体力増強のため、ソフトバレーボールチーム「おやじ～ず」結成。毎週1回汗を流している。

目指すま

子どもが安心して外で遊べるような地域力のあるまち

活動のス

PTA活動でもなく、公民館活動でもない、地域のおやじ達の自主的集合体で、子どもたちとの交流と地域の活性化を目指し、日々自分たちも楽しんでやっております。

寄付金の使

子どもたちのキャンプ等、活動運営資金にあてたい！決しておやじ達の酒代には使いません。誓いますー！！

隊員条件は、神山地区内に居住していることのみです。
賛助隊員は条件なし。下記に連絡を！

興味のある方



YGP

八幡浜元気プロジェクト



人の元気をまちの元気につなげる

「八幡浜を元気にしたい」、「ボランティアをしたい」…そんな熱い思いを持った若者が集まり活動しているのが「YGP」(八幡浜元気プロジェクト)です。「住民同士の横のつながり」をつくるのが、「地域の活性化」につながることを信じ、YGP自身がボランティア活動をするのはもちろん、YGPがきっかけとなり、地域活動(ボランティア活動)が地域の中で増えることを目指しています。

今春の設立総会をきっかけに「ボランティアグループ」から「まちづくり集団」へと進化し、計画に基づいた活動を展開しています。

活動目的

「八幡浜を元気にすること」
その手法として、地域活動(ボランティア活動)を通して、住民の地域参加、また参加者自身の活性化、さらに地域の諸問題の解決へとつなげようと考えています。

活動内容

- ① 八幡浜の清掃・美化・リサイクル活動を推進する活動
- ② 既存の祭り(行事)を盛り上げ、新しい祭り(行事)を創造する活動
- ③ 高齢者・子ども・障がい者を含め、住民を元気にする活動
- ④ 世代間交流の促進をする活動
- ⑤ 街で行われる地域活動(ボランティア活動)を活性化させる活動
- ⑥ 中心商店街を活性化させる活動
- ⑦ 第1次産業(地場産業)を活性化させる活動

目指すまち

地域活動(ボランティア活動)が活発なまち
地域資源を活かしたまち
住民一人ひとりが真に豊かなまち

活動のススメ

YGPの活動は多岐に渡る分、自分の視野を広げたり、新しい人に出会う機会が多くあります。年齢も職業もバラバラな個性豊かなメンバーのもとワイワイと活動できます。

寄付金の使い方

「八幡浜を元気にするプロジェクト」の事業費
当団体の運営費全般

YGPには、「正会員」として活動に積極的に関わる方法、また「サポーター」として活動のサポート役として関わる方法の2つがあります。年齢制限はありませんので、八幡浜に在住または勤務している方であれば入会できます。お気軽にメール・電話くださいね。

興味のある方は



八幡浜を元気にするプロジェクト

私たちYGPは、人の元気を街の元気に繋げる活動として、「八幡浜を元気にするプロジェクト」を事業展開しています。住民参加型のイベント(行事)をYGPが開催することで、地域活動参加のきっかけをつくるとともに、住民同士の横のつながりをつくることを目的にしています。

今年の3月から行っている「八幡浜クリーンプロジェクト」(毎月第2日曜日)も「八幡浜を元気にするプロジェクト」の第1弾企画として、毎月1回行っていくものです。

なぜ、「クリーンプロジェクト」なのか?…それは、「清掃活動」が一番身近で、誰にでも気軽にできるボランティア活動であるからです。最初に行うプロジェクトはなるべくハードルを低くして、住民の皆さんに気軽に参加してもらいたいと考えました。その中で、人を知り、まちを知り、自分を知る機会にして欲しいと私たちは考えています。

そして、今回、「八幡浜を元気にするプロジェクト」第2弾企画として「八幡浜ドネーションプロジェクト」を行います。なぜにYGPがこのプロジェクトに着手したのか…?

それは、人の元気を取り戻す重要なステージを担うのが、「地域活動(ボランティア活動)」であると考えているからです。第三の公共として、街の新たなサービスを提供するだけでなく、そこに参加する人自身を元気にし、地域の諸問題を解決する力を秘めていると考えています。

YGPはその地域活動を活発にさせる3つの方法を提案しています。1つ目が、「住民に広く地域活動参加のきっかけを提供すること」、2つ目が、「地域活動団体同士の交流を促進させること」、3つ目が「新たな地域活動を起こすきっかけを提供すること・支援すること」です。

「八幡浜ドネーションプロジェクト」は、YGPの地域活性化プロセスに沿った重要な位置づけとなっているのです。

それでは、ドネーションパーティを開催するメリットはどこにあるのでしょうか?以下、「地域活動団体」、「住民」、「地域社会」の視点で挙げてみたいと思います。

【地域活動団体】

- ① 団体の資金不足・人材不足が解消される。
- ② 活動について住民の皆さんに知ってもらうことで、今後の活動が進めやすくなる。
- ③ 他団体とのライバル意識(いい意味での競争意識)を通して、団体内のモチベーションが上がる。
- ④ いろいろな人・団体とのつながりをつくることができる。

【住民】

- ① 地域で活動している団体を知ることができる。
- ② 地域活動参加のきっかけを得ることができる。
- ③ 地域の問題を考えるきっかけを得ることができる。
- ④ 自分の意志を含めた寄付を通して団体を応援することができる。

【地域社会】

- ① 全体として地域活動団体が元気になる。
- ② ①により、地域の諸問題が解決される(第三の公共)。
- ③ ①により、ヒト・モノ・カネが活発に動いていく。
- ④ 「意志あるお金」を「意志ある人」に使ってもらうという新しい寄付文化を醸成することができる。

このように、人の元気を取り戻す地域活動は、地域社会にとっても大きなメリットがあることが分かります。

YGPは、「八幡浜を元気にするプロジェクト」をシリーズ化し、第3弾、第4弾…と事業展開していきたいと考えています。

さあ、「自分たちのまちは自分たち自身の手で良くしていく」! みんなで八幡浜のために頑張っていきましょう!

“Restoration Project by Mixing People Power”

ドネーションパーティという耳慣れない言葉を使ったプロジェクトがふるさとの八幡浜で動き始めました。このプロジェクトは、八幡浜元気プロジェクト(YPG)のメンバーがはじめました。その副リーダーの浜田君とは、彼が八幡浜高校在学の時代に商店街の活性化事業に係わってもらった時からの付き合いです。その当時からまちづくりに関することをしたいと言っていたことを思い出します。今回新しい活動を始められたことを聞いて、大変うれしく思います。

この活動は、簡単に言えば市民活動に対して社会から寄付を募ることをいいます。社会貢献の手法は、お金で貢献すること、汗で貢献すること、知恵で貢献することの3つがあると、私の大学の恩師に教えてもらったことがあります。自分の得意な部分で社会貢献すればいいのだと。

今、地域社会の課題は、個人のニーズの多様化するとともに膨れあがってきています。障害者の関すること、子育てに関すること、介護や看護など高齢者に関すること、認知症に関すること、ペットに関すること、団塊の世代に関すること、地域経済の活性化に関すること、国際交流に関すること、コミュニケーションに関すること等、多様な課題が存しています。これらの様々な要因で発生している多様な課題は、行政の標準的な施策では解決しにくいものが多いといえます。自分が住んでいる地域の課題に気づくことによって、それらを解決しようとする動きが始まり、それらが住みやすい地域をつくっていく活動につながっていきます。地域の課題は、自分たちの課題なのです。このため、行政の力では対応できにくい課題については、市民自らが立ち上がり、自らが解決していくことが求められている。これらの活動を市民公益活動といえます。

市民公益活動団体は、地域や社会が少しでも暮らしやすくあるように、自分の時間や能力を出しあって活動しています。活動の中で新しい出会いや価値観に触れることができたりとして、活動自体が魅力的なものになっていますが、新しい仲間を増やしたり、応援してくれる人を増やしたりする場は少なく、安定した活動に発展していくためには十分な環境が作り出されているとはいえません。

このように、市民活動が抱えている課題は、担い手の確保という問題や活動資金の確保というような問題があります。自分が汗をかいて活動しようとする人、そのような人をお金や知恵で応援しようとする人は、それぞれの社会貢献がそこにあります。しかしながら、一人ずつの活動では限界があります。これらの人たちがつながってこそ大きな活動になっていきます。

そのための活動が、八幡浜で行われようとしています。皆さんの積極的な参加によって、住みやすい地域社会を自分たちの責任で作り上げられていくことを祈念しています。

最後に、このような活動のことを中間支援的な活動といえます。自分たちが直接事業を行うのではなくて、社会公益的な事業を行おうとする人たちを応援することは、その達成感を得ることが難しく、維持していくことが難しい活動のうちの一つです。このような難しい活動に取組みを始めた八幡浜元気プロジェクトのメンバーに敬意を表したいと思います。是非、継続的な活動に育てて下さい。

特定非営利活動法人まちづくり支援えひめ

代表理事 前田 眞



まえだ まこと
愛媛県八幡浜市出身、広島工業大学在学中に農山漁村の研究チームに参加、コミュニティのあり方について触発される。卒業後、広島市の都市計画コンサルタント会社に入社、土地利用に関する業務を担当。その後、愛媛県松山市でまちづくり事務所や特定非営利活動法人まちづくり支援えひめを設立、住民参加型まちづくりの支援活動に携わっている。